2014年12月 Vol.64

親の心子知りえず ~発生工学は神か悪魔か?~

今夏タイで日本人男性が16人もの子供を 代理出産でもうけた騒動は、その子供が全て その男性のDNAを引き継いでいたことで収 束したものの改めて倫理上の課題を浮き彫り にした。一方、家畜の世界ではこうした胚移植 はかねてから遺伝形質の優れた受精卵(胚) を人工授精させる"借り腹飼育"として一般的 に行われてきた。例えば乳牛のホルスタイン から乳をとるための懐妊には肉質の良い肉牛 の冷凍保存された胚が使われる。乳牛よりも 肉牛の子牛のほうが高く売れるためだが、も ちろんその子牛のDNAにホルスタイン母の DNAは存在せず、トビにタカを産ませる技術 とも言える。こうした人工授精、体外受精、胚 移植、クローンや遺伝子組み換えによる形質 転換などの技術を用いて新しい生物系統を つくることを主とする分野は広く発生工学と 呼ばれているが、その技術の進展はめざましい。

本年9月には静岡大学の研究チームが、特異な受精形態のために人工授精が極めて困難であった鳥類の顕微授精手法を開発して孵化



なんでもありの発生工学

を成危の寄さ注技京究しり術ニ原世別は順用らにさの洋一新養あマ殖でせ繁期になる。1、れ一大ムた殖るス細ががあるもる東研発借技年始とで滅へがる。

呼ばれる細胞をヤマメに移植してヤマメに二 ジマスの精子や卵子を作らせヤマメにニジマ スの稚魚を産ませることに成功したものだが、 この技術を使えば卵を生む成魚までの飼育コ ストや生存率に課題のある大型魚のクロマグ 口の養殖において、小型のアジやサバの腹を 借りて陸上養殖でクロマグロの稚魚を産ませ ることも可能だとして研究が進められている のだ。また、そのクロマグロの完全養殖に世 界で初めて成功したことで知られる近畿大学 の研究チームは、豚にホウレンソウの遺伝子 を組み込んで脂肪の一部を植物性油の主成 分であるリノール酸に変えることに成功した という。植物の遺伝子を哺乳類の個体で正常 に機能させることができたのはこれまた世界 初とのことだが、やはりどこかで何か線引きが 必要だと思うのは私だけだろうか。(^_^;)

T専務の放浪旅日記 "トルコ (イズミル) よもやま話"

10月14日~20日の期間でトルコのイズミル(izmir)で開催され たUILI(国際民間分析試験所連合)の総会並びにラボミーティングに 日本代表として参加してきました。これまでトルコのイメージは "親日 "イスラム圏"程度でした。その親日である理由は、"和歌山沖で のトルコ海軍の遭難を串本の漁民が助けた"ことが始まりで、ほとん どのトルコ人が知っています。また、トルコはイスラム圏国家ですがキ リスト教を排除していません。これは、オスマントルコの政策が、イス ラム教以外を信仰することも(税金を3倍払うことで)認めていたこ とにあるようです。中東に位置しながら、トルコは農業生産国という のも初めて認識しました。その割合は就業人口の40%、GDPの15 %にも上ります。広大な国土のため、今回訪れたイズミルのようなエ -ゲ海側の温暖地域もあれば、冬は−10℃(雪もかなり降る)となる 地域もあることから、生産品は "オリーブ、オレンジ、コットン、小麦、り んご"と様々な品種があり、アラブ圏やEU圏への輸出国となっていま す。特に有機農業は、国を挙げての取り組みとなっており、コットンの 遺伝子組み換え栽培は禁止を打ち出し、有機農業での証明、残留農 薬のチェックはかなり厳しく実施しています。今回の会議の事務局と なった分析会社には特産の黒いちじく(写真)が残留農薬チェック(非 検出の証明書添付)のため、終日持ち込まれていました。 出荷ロット

毎に証明書を付けることが当たり前となっているようで、トルコでの分析会社の売上上位は残留農薬分析と飲料水の分析ということです。日本では環境問題からスタートした分析市場も国が違うと分析会社を支える項目に違いがあることを目の当たりにして帰ってきました。



測ってみよう! 探検隊 VOL.42

電車の中でイヤホンから漏れるシャカシャカー音、 一体何dBまでなら大丈夫? 電車に乗っている時、隣の方のイヤホンから漏れる"シャカシ

<mark>ャ</mark>カ♪"という音が気にな<mark>ったことはありませんか?逆に自分が</mark>

携帯音楽プレイヤーを車内で聴いた時に、どの程度の音量でどれぐらい漏れてしまうのか知っておくことも大事だと思い、測ってみることにしました。難しいのは静かな室内での漏れ音と、もともと暗騒音の大きな車内では音を感じるレベルが違うことです。そこで今回はスマホをプレイヤーにして写真のような計測装置を製作し、静かな室内でボリュームを段階的に上げてカナル式イヤホン近傍での漏れ音を計測。そのレベルを車内で再現して判定しました。また、その音漏れを起こす元の音圧レベルは、スマホのスピーカーで鳴らしながらスマホの騒音計アプリで簡易計測してみました。結果は下表の通り。聴いている本人の音楽の聴こえ方が赤色のレベルボリュームだと周囲は"シャカシャカ♪"が気になります。漏れ音はボリューム10でもわずか15~30dB程度ですが、この音は暗騒音に紛れずに、音圧レベルの数値以上に気になります。周波数解析をした結果、5000~20000Hz間の音が"シャカシャカ♪"の要因となってい

ることがわかりました。ちなみにこの帯域が少ないクラッシック音楽では、ボリ



V	S(dB)	室内感覚	電車内感覚
1	44	聞こえない	聞こえない
2	60	やや聞こえる	やや聞こえる
3	70	やや聞こえる	やや聞こえる
4	74	ちょうど良い音量	少し聞こえる
5	76	ちょうど良い音量	少し聞こえる
6	78	少しうるさめ	ちょうど良い音量
7	80	少しうるさめ	ちょうど良い音量
8	82	かなりうるさめ	少しうるさめ
9	85	かなりうるさめ	少しうるさめ
10	87	爆音	爆音
11	88	爆音	爆音

V:スマホのボリューム(Docomo P-02e) S:スピーカーでの簡易音圧レベル

野呂 啓史(四日市分析センター フィールドGr)

きたー!くったで~!これはでかいで~!と言いながら魚を 釣るのが好きでたまりません。どんな釣り具、方法で釣るか、 釣れ過ぎたらどうする?釣れなかったらなんて言い訳する?等 あらゆることを考え釣りに挑みます。釣りとは最終目標の魚を 得ることだけでなく、その過程や努力がプライスレスでマニア ックな楽しみなのです。最近では1級小型船舶の免許を取得し、 海上での自由を得たので来夏はマグロを追いかけようかと夢見 ています。いつか皆様に釣れ過ぎたので魚もらってくださいと お願いしなければならない日が来るようにがんばります。



編集後記

早いもので2014年も終わろうとしています。 皆様にとってはどのような1年でしたでしょうか?

慌ただしく選挙も終わり、 日本の未来が新たに託 されましたね。ぜひとも 明るいニュースの流れ る2015年であってほ しいと願うばかりです。 本年もご愛読ありがと うございました。 (たくぼん)



